

## 令和7年度 第3期庄原市立西城市民病院経営強化プラン評価委員会の開催結果について

1 日 時 令和8年3月30日（月） 13:30～15:30

2 場 所 庄原市立西城市民病院 2階会議室

3 出席者 委員8名中7名出席  
※名簿は別紙「第3期西城市民病院経営強化プラン評価委員会委員名簿」のとおり

### 4 議事概要

事務局説明

令和5年2月策定の「第3期庄原市立西城市民病院経営強化プラン」の令和6年度分の実施状況及び自己評価説明

### 5 協議内容（評価項目）

- (1) 役割・機能の最適化と連携の強化
- (2) 医師・看護師等の確保と働き方改革
- (3) 経営形態の見直し
- (4) 新興感染症の感染拡大等に備えた平時からの取り組み
- (5) 施設・設備の最適化
- (6) 経営の効率化

### 6 評価方法

経営強化プランの各項目の実施状況について、庄原市立西城市民病院から提出された経営強化プランの実施状況及び自己評価を検証し、評価委員会の総意を取りまとめる形で、点検・評価とした。

### 7 委員からの主な意見

- (1) 役割・機能の最適化と連携の強化
  - ① 西城市民病院の必要性や取り組みの内容を、職員自らが現地に出向きどんどん発信してほしい。
- (2) 医師・看護師等の確保と働き方改革 【意見無し】
- (3) 経営形態の見直し 【意見無し】
- (4) 新興感染症の感染拡大等に備えた平時からの取り組み 【意見無し】
- (5) 施設・設備の最適化
  - ① 施設が築50年を超えており、設備の老朽化が目に見えて進んでいると思われる。
  - ② 本市の医療提供体制等に関する調査事業を実施されたところがあるが、西城市民病院の建替えを含め、今後の医療の在り方を検討してほしい。
- (6) 経営の効率化
  - ① 全国の9割の公立病院が赤字という中で、西城市民病院は黒字化しており、よく頑張っている。

### 8 評価結果

経営強化プラン実施状況の点検・評価について、令和6年度の各種目標は概ね達成しており、経営強化プラン全体としては、順調に推移しているものと評価する。

### 第3期西城市民病院経営強化プラン評価委員会委員名簿

所 属	役 職	氏 名	備 考
広島県立大学	名誉教授	野原 健一	委員長
庄原市医師会	会 長	林 充	副委員長
庄原市社会福祉協議会 西城地域センター	センター長	鹿川 晴美	
西城自治振興区	会 長	田村 富夫	
八銚自治振興区	会 長	高原 芳典	
元庄原赤十字病院事務部長		中本 淳	
元西城市民病院事務長		定木 丈宜	
元西城市民病院総看護師長		曾利 雪子	

#### 【事務局】

所 属	役 職	氏 名	備 考
庄原市立西城市民病院	病院事業管理者 兼院長	郷力 和明	
庄原市立西城市民病院	総看護師長	長谷 絵美	
庄原市立西城市民病院	事務長	仙田 真作	
庄原市立西城市民病院	医療総務係長	谷先 辰也	
医療経営支援事務所	経営アドバイザー	米田 幸夫	

進 歩 度	A：順調に進行している。
	B：おおむね順調に進行している。
	C：一部遅れている。
	D：遅れている。

## 令和6年度分 経営強化プラン評価シート（概要版）

		評価	実施状況
<b>1</b>	<b>役割・機能の最適化と連携の強化</b>	A	
	(1) 広島県地域医療構想を踏まえた当該病院の果たす役割	A	広島大学病院等から医師派遣に向けた取り組みの実施。 退院患者に対し在宅医療支援等にかかる情報提供の強化。
	(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たす役割	A	
	① 多職種連携による各種会議の開催	A	多職種連携による各種会議の開催。
	② 健診事業の更なる推進	A	健診受診者で要精査の方への追跡調査を行い、当院受診の要請を継続的に実施。 事業所健診の拡大に向け、事業所廻りを実施。
	③ 介護事業の更なる推進	B	訪問系や通所系のケアプラン作成件数増に向け、院内調整や当院以外の居宅介護 支援事業所との連携強化。
	④ 認知症支援への取り組み	A	臨床検査科で認知症検査を継続的に実施。
	⑤ 障害者支援への取り組み	A	精神障害者対策として、月1回受診体制を継続して実施。
	⑥ 訪問看護・訪問リハビリ等の充実	A	ITシステムの導入により、訪問時に患者情報の迅速な取り込みや業務の効率化 を実施。
	⑦ 相談窓口機能や関係機関との調整機能の強化	A	地域連携室業務の取り組みをホームページやデジタルサイネージでの周知を 実施。
	⑧ 無医地区における巡回診療への取り組み	A	巡回診療で無医地区となった地域医療支援を継続して実施。
	(3) 機能分化・連携強化		
	① 西城市民病院の現状	A	当院に無い診療科や開業医からの紹介・逆紹介等の連携強化。
	② 地域医療連携推進法人の連携について	A	地域フォーミュラリ（後発薬品）共有化の実施。 診療材料や薬品等の共同購入の実施。
	(4) 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標	B	※別紙参照
	(5) 一般会計負担の考え方	A	庄原市と協議し、一般会計から病院事業会計へ基準内繰入。 （補助金・負担金）
	(6) 住民の理解のための取り組み	A	出前講座の開催で病院情報の提供を実施。 広報誌の発刊を実施。
<b>2</b>	<b>医師・看護師等の確保と働き方改革</b>	A	
	(1) 医師及び看護師、医療技術者の確保・育成	A	
	① 医師の確保	A	広島大学病院、広島県及び広島県地域医療支援センターとの情報交換を実施。
	② 看護師、医療技術職の確保	A	学校巡りやホームページ等において医療従事者の確保対策を実施。 地元在住の潜在看護師に対し、復職要請や再任用制度による人材確保の実施。
	③ 職場環境等の改善	A	超過勤務の削減対策に向けて業務の効率化を実施。
	(2) 臨床研修医の受け入れ等を通じた若手医師の確保	B	若手医師育成事業の研修会へ参加。
	(3) 医師の働き方改革への対応	A	医師の業務軽減や派遣医師の確保に向けて関係機関と協議を実施。
<b>3</b>	<b>経営形態の見直し</b>	A	経営健全化委員会（2か月に1回）を開催し、経営健全化に努める。
<b>4</b>	<b>新興感染症の感染拡大等々に備えた平時からの取り組み</b>	B	院内感染対策委員会の開催を実施。 発熱外来等を設置しコロナ対策を実施。
<b>5</b>	<b>施設・設備の最適化</b>	A	
	(1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制	A	高度医療機器の更新計画を見直しを実施。
	(2) デジタル化への対応	A	マイナ保険証による資格確認を行う範囲を広げるため、介護事業所や夜間救急室 へシステム導入を実施。
	(3) 病院の老朽化に伴う今後の対応について	A	老朽化に伴うライフライン関連の設備改修を実施。 本市の医療体制に係る調査事業への協力。
<b>6</b>	<b>経営の効率化</b>	A	
	(1) 経営指標に係る数値目標	A	
	① 収支改善に係るもの	A	医療収支や医療外収支の現状分析を実施。 増患対策や診療単価、健診事業の増と介護事業の現状分析等の検証を実施。
	② 収入確保に係るもの	A	月次、累積業務統計を作成し、目標管理の徹底を実施。 経営健全化委員会の定期的な開催の実施。
	③ 経費節減に係る数値目標（対修正医療収益）	A	経費・材料費節減対策に向けて関係部局と協議を実施。 診療材料の取り扱い業者等と価格交渉を実施。
	④ 経営の安定性に係るもの	A	経営健全化対策の強化を実施。
	(2) 経常収支比率及び修正医療収支比率に係る目標	A	西城地区以外の患者増対策の実施。 （訪問診療、訪問看護、訪問リハビリと運動）
	(3) 目標達成に向けた具体的な取り組み	A	
	① 役割・機能に的確に対応した体制の整備	A	関係医療機関への医師派遣要請を実施。
	② 歳入確保のための具体的な取り組み	A	健診機能の拡大・外来患者増・診療報酬への反映・未収金対策の徹底・ 介護事業の更なる推進の実施。
	③ 歳出の抑制に向けた具体的な取り組み	A	適正な人員配置・診療材料費、薬品費の節減策・経費の抑制に向け委託業務内容 の検証を実施。
	④ 事務局体制の強化	A	全職員を対象に診療報酬改定内容の共有化を図るため、研修会の開催を実施。 外部アドバイザーの継続雇用を実施。
	(4) 経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画	A	管理職会議や経営健全化委員会で報告と評価を実施。
	(5) 経営強化プランの策定プロセス、実行	A	管理職会議や経営健全化委員会で進捗状況の管理と報告を実施。
	(6) 経営強化プランの点検、評価及び公表	A	年間を通じて経営分析を行い、経営状況を管理職に対して共有化を図る。